

4820 SurePoint ソリューション



インストールおよびサービス・ガイド

4820 SurePoint ソリューション



インストールおよびサービス・ガイド

お願い

本書の情報およびそれによってサポートされる製品をご使用になる前に、ixページの『安全上の注意』、および 43ページの『付録C. 特記事項』をお読みください。

本書は、新しい版で特に指示のない限り、IBM 4820 SurePoint ソリューション と以降のリリースおよび変更に適用されます。

この資料は、IBM ストア・ソリューションのインターネット・サイトで使用することができます。

1. www.ibm.co.jp/store/ に進みます。
2. 「マニュアル」を選択します。

本マニュアルについてご意見や感想がありましたら

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.infocr.co.jp/ifc/books/>

をご覧ください。（URL は、変更になる場合があります）

原 典： GA27-4231-00
4820 SurePoint Solution
Installation and Service Guide

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.11

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1999. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 1999

目次

本書について	v
本書の対象者	v
関連資料	v
安全に正しくお使いいただくために	vii
絵表示について	vii
安全上の注意	ix
図	xi
表	xiii
第1章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの概要	1
製品の利点	1
製品の要約	2
4820 SurePoint ソリューションの前面の外観	3
4820 SurePoint ソリューションの背面の外観	4
ケーブル接続およびケーブル経路	5
保守の依頼	6
第2章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの設置	7
ハードウェア・リストの検討	7
開始する前に	7
オプションの取り付け	7
管理者用のキーロックの取り付け	8
キーパッドの接続	9
磁気ストライプ読取装置 (MSR) の接続	10
ポインティング・デバイスの接続	12
分離型脚柱のカウンターへの取り付け	14
ケーブルの経路指定	15
ステップ 1: ビデオ・ケーブルおよび電源ケーブルの経路指定	15
ステップ 2: ポインティング・デバイスの経路指定 (統合型および分離型)	18
ステップ 3: RS485 ケーブルの接続と経路指定 (統合型および分離型)	19
統合型脚柱の 4820 SurePoint ソリューションへの取り付け	20
分離型脚柱の 4820 SurePoint ソリューションへの取り付け	22
VESA ブラケットの 4820 SurePoint ソリューションへの取り付け	23
電源オン	24
システム・ソフトウェアの入手	24
サポートされるビデオ・モード	24
Windows 設定要件	25
第3章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの操作	27
快適さを最大限にする	27
タッチスクリーンのクリーニング	27
表示イメージの調整	27
輝度調節の使用	28
OSD メニューの使用	28
自動調整補助ファイルの使用	29

第4章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの保守	33
LED 状態	33
共通の問題の障害追及	33
サービス診断ディスクの使用	35
タッチスクリーンの調整	36
キーパッド、MSR、色調デバイス、およびタッチスクリーンのテスト	36
ポインティング・デバイスのテスト	36
付録A. 取り付け板のテンプレート	39
付録B. 現場交換可能ユニット (FRU)	41
付録C. 特記事項	43
情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示	43
静電気の放電 (ESD)	43
商標	44
索引	45

本書について

本書は、IBM 4820 SurePoint ソリューションおよび接続装置の設置および保守について説明しています。操作と障害追及の情報についても記載されています。本書は、次の章で編成されています。

- 1ページの『第1章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの概要』では、4820 SurePoint ソリューションと使用可能なオプションについて説明します。
- 7ページの『第2章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの設置』では、分離型脚柱または統合型脚柱のどちらかを 4820 SurePoint ソリューションに取り付ける方法とそのオプションを取り付ける方法を説明します。
- 27ページの『第3章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの操作』では、4820 のユーザーに対する情報を記載してあります。
- 33ページの『第4章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの保守』では、共通の問題とその解決方法を説明します。この内容は、専門のサービス技術員が必要とするものです。
- 39ページの『付録A. 取り付け板のテンプレート』は、分離型脚柱を取り付ける場合に必要です。
- 41ページの『付録B. 現場交換可能ユニット (FRU)』は、4820 の FRU のパーツ番号が記載されています。

本書の全般にわたって、4820 の語は、IBM 4820 SurePoint ソリューションを意味します。4694 の語は、IBM 4694 POS ターミナルを意味します。

本書の対象者

本書は、IBM 4820 SurePoint ソリューションを設置し、使用する責任を有する方を対象にしています。33ページの『第4章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの保守』では、主に専門の技術員の方を対象にした情報が記載されています。

関連資料

次の IBM 資料、ドライバー、およびサービス・ディスクットの情報は、IBM ストア・ソリューションのインターネット・サイトである www.ibm.co.jp/store/ で入手できます。「ストア・ソリューション」のページで、「マニュアル」をクリックしてください。

- *IBM 4820 SurePoint ソリューション システム・リファレンス*、SY88-8010
- *IBM 4619 Point-of-Sale Terminals: Installation and Operation Manual*, SA27-4005
- *IBM 4619 Point-of-Sale Terminals: Hardware Service Manual*, SY27-0364

ドライバーおよびサービス・ディスクットについて

- 「ダウンロード」、「4820」で、
 - 4694/4695/ISA サービス・ディスクット、バージョン 5.30 またはそれ以降 (38 VDC 用)、バージョン 4.02 またはそれ以降 (24 VDC 用)
 - Windows 版 POSS のダウンロード
 - DOS 版 POSS のダウンロード



- OPOS ドライバーのダウンロード

安全に正しくお使いいただくために

この製品を安全に正しくお使いいただくために、このマニュアルには安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

あなたとあなたの周りの人々の危害および財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよびこの製品の安全表示では、以下の絵を表示しています。

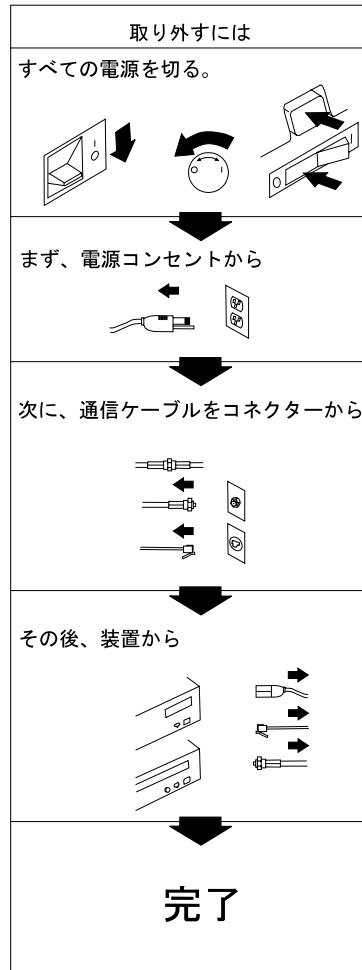
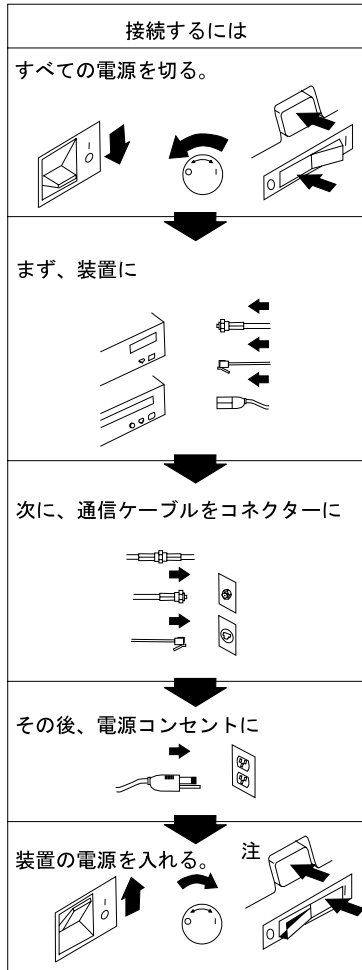
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険

- この製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- この製品の構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
- 電源プラグをコンセントに接続する前に、コンセントが正しく接地されており、正しい電圧であることを確認してください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が製品の内部に入ったときは、すぐに製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

危険

- ケーブル類の取り付け、取り外し順序。
電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。装置を設置、移動、または接続するときには、以下のようにケーブルの接続および取り外しを行ってください。また、電話回線、通信回線またはテレビのアンテナ線が接続されている製品は、雷の発生時には回線の接続または取り外しをしないでください。



⚠ 注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください。)
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

安全上の注意



危険： 導入作業を開始する前に、安全に関する小冊子 GA27-4004 の「最初にお読みください」(Read This First)の項をお読みください。
この小冊子は、電気機器の安全な配線と接続の手順について説明しています。



1. フィーチャーおよび取り付けができる脚柱を備えた 4820 SurePoint ソリューション	1
2. 4820 の前面の外観	3
3. 4820 の背面の外観	4
4. 固有のケーブル・コネクタ	5
5. ケーブル・コネクション	5
6. ケーブルの経路	6
7. アライナーの配置	8
8. ロック・インサートとプラス・キー	8
9. キーボード付きの 4820 SurePoint ソリューション	9
10. 接続したキーボードの背面の外観	10
11. MSR 付きの 4820 SurePoint ソリューション	11
12. ポインティング・デバイス接続用のタブ	12
13. オプションのポインティング・デバイス付きの 4820 SurePoint ソリューション	13
14. 分離型脚柱の取り付け図	14
15. ビデオ・ケーブルを経路指定する方向	15
16. Velcro ストリップの使用	16
17. ビデオ・ケーブルと電源ケーブルの経路指定	17
18. ケーブル接続の検討	17
19. 統合型脚柱を通したケーブルの経路指定	18
20. ポインティング・デバイス・ケーブルの経路	19
21. 統合型脚柱のパーツ・リスト	20
22. 統合型脚柱カバー	21
23. 分離型脚柱のパーツ・リスト	22
24. 分離型脚柱カバー	23
25. 輝度メニュー	28
26. 自動調整補助ファイルを使用したパターンの表示	31
27. 分離型脚柱の取り付けテンプレート	39

一 表

1.	4820 SurePoint ソリューション・ハードウェア・オプション	2
2.	4820 SurePoint ソリューションのシステム・ソフトウェア	2
3.	4820 SurePoint ソリューションでサポートされるオペレーティング・システム.	2
4.	サポートされるビデオ・モードと周波数	24

第1章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの概要

IBM 4820 SurePoint ソリューション (図1 を参照してください) は、ノンタッチ・ディスプレイのバージョンを追加することによってタッチ・ディスプレイの IBM ファミリーを強化します。このバージョンは、スペースが限られている陰極線管 (CRT) と置き換えることができます。4820 SurePoint ソリューションには、次のモデルがあります。

4820-46D ノンタッチ・カラー、アクティブ・マトリックス・テクノロジーの液晶表示 (LCD)

4820-46T タッチ・カラー、アクティブ・マトリックス・テクノロジー LCD

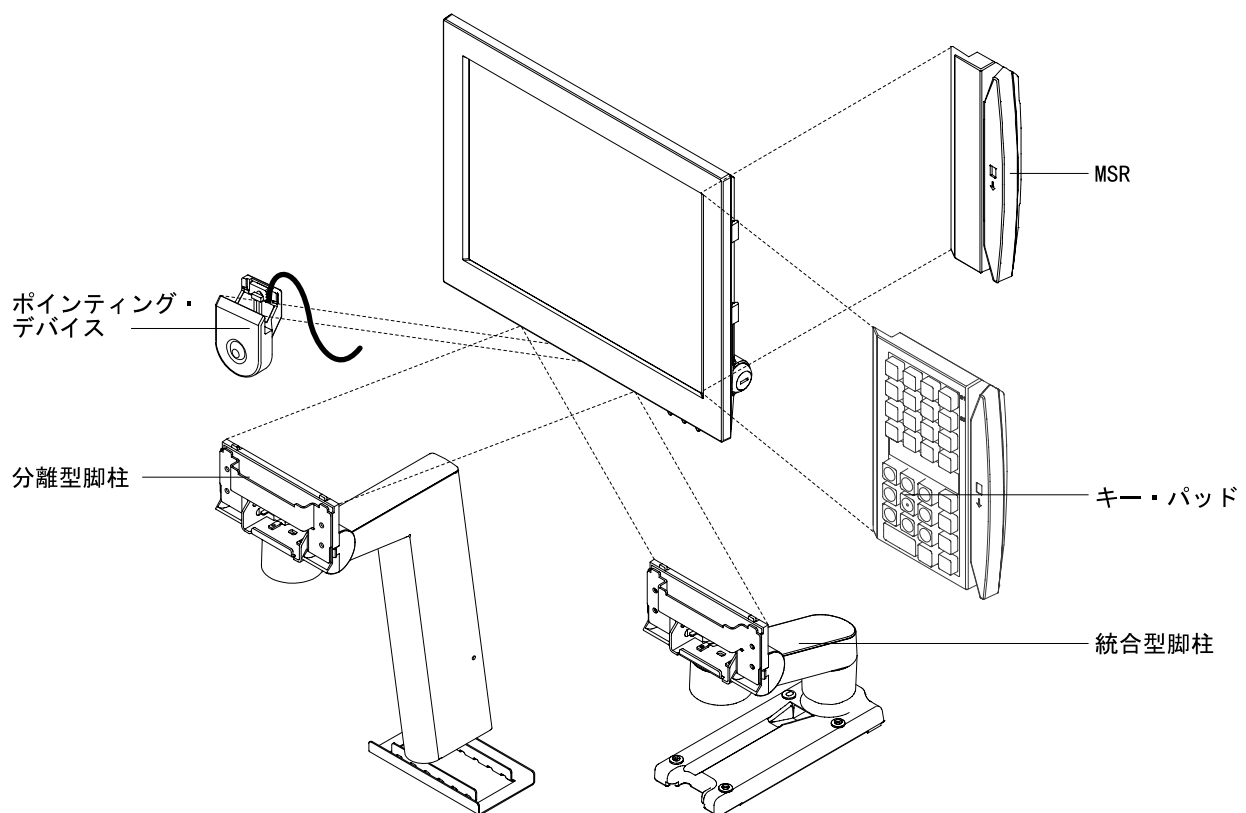


図1. フィーチャーおよび取り付けができる脚柱を備えた 4820 SurePoint ソリューション

製品の利点

タッチ・バージョンとノンタッチ・バージョンでは、4820 SurePoint ソリューションにおいて次の利点があります。

- 高輝度で SVGA 解像度のマルチメディア対応
- 電磁波の低減
- アダプターなしで IBM 4694 システムに接続可能
- ハードウェア輝度調節
- 標準の CRT と比較して低い電力消費量

- フリッカー・イメージがでない
- 4694 ターミナルに内蔵および分散装着での構成
- 耐水設計
- 32 キーボード、2 ヘッド MSR、管理者用のキーロック、およびポインティング・デバイスなどのオプションの装置

製品の要約

表1 に、4820 SurePoint ソリューション・ハードウェアのオプションを要約してあります。

表1. 4820 SurePoint ソリューション・ハードウェア・オプション

オプションのハードウェア	説明
キーパッド	• JUCS MSR を備えた 32 キー
磁気ストライプ読取装置 (MSR)	JUCS
ポインティング・デバイス	PS/2 マウス・タイプ
取り付け	<ul style="list-style-type: none"> • 統合型脚柱 • 分離型脚柱 <ul style="list-style-type: none"> – 低: 238.2 mm – 高: 350.6 mm • VESA ブラケット
セキュリティー	管理者用のキーロック (469X)
ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> • RS485: 0.8 メートル、1.8 メートル、3.8 メートル • アナログ・ビデオ: 0.8 メートル、1.8 メートル、3.8 メートル • ポインティング・デバイス、PS/2 • 電源ケーブル
電源	外部電源機構

表2 に、サポートされるシステム・ソフトウェアが記載されています。

表2. 4820 SurePoint ソリューションのシステム・ソフトウェア

システム・ソフトウェア	
POSS ドライバー	詳しい説明については、24ページの『システム・ソフトウェアの入手』を参照してください。
保守パッケージ: サービス・ディスクレット、各種資料	詳しい説明については、24ページの『システム・ソフトウェアの入手』を参照してください。

表3 に、サポートされるオペレーティング・システムが記載されています。

表3. 4820 SurePoint ソリューションでサポートされるオペレーティング・システム

サポートされるオペレーティング・システム	
ディスク・オペレーティング・システム (DOS)	7.0
Windows™ 25ページの『Windows 設定要件』を参照してください。	Windows 98
	Windows NT™ 4.0

4820 SurePoint ソリューションの前面の外観

図2 は、制御ボタンの位置を示した 4820 SurePoint ソリューションの前面から見た外観です。

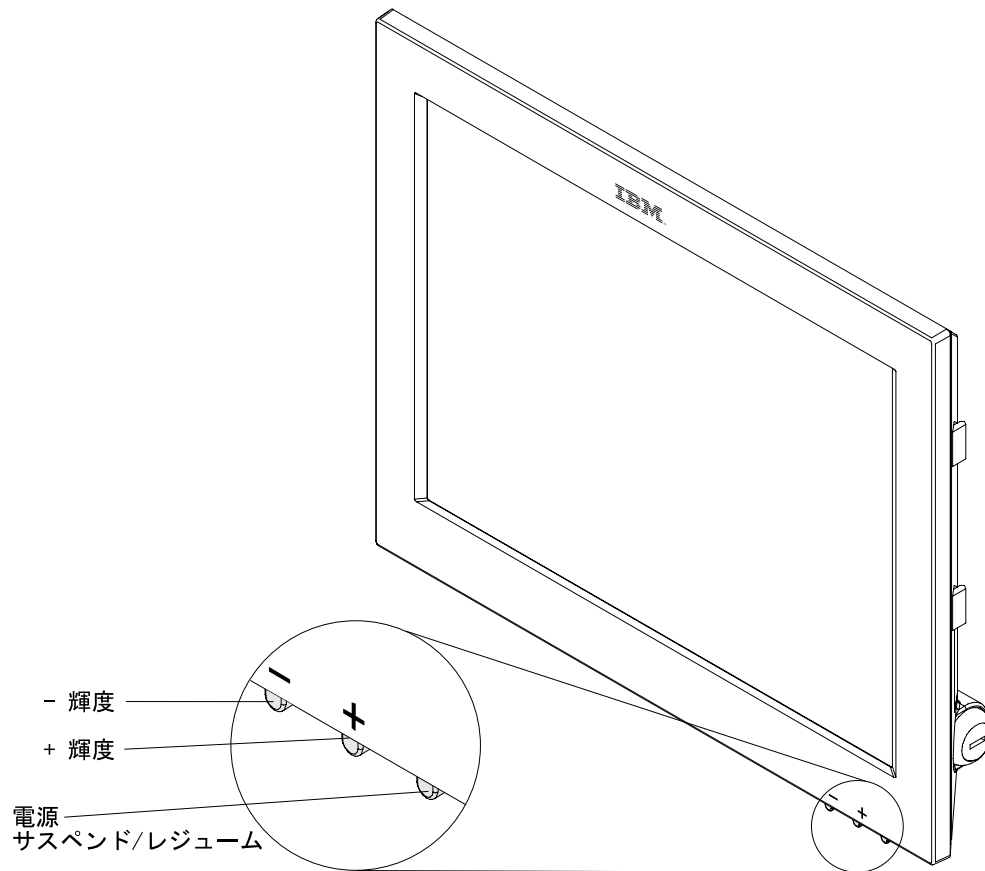


図2. 4820 の前面の外観

4820 SurePoint ソリューションの背面の外観

図3 は、キーパッドおよび MSR のタブの位置、コネクタ、およびコネクタ・カバーを示してある 4820 の背面の外観です。管理者用のキーロックの位置に注意してください。

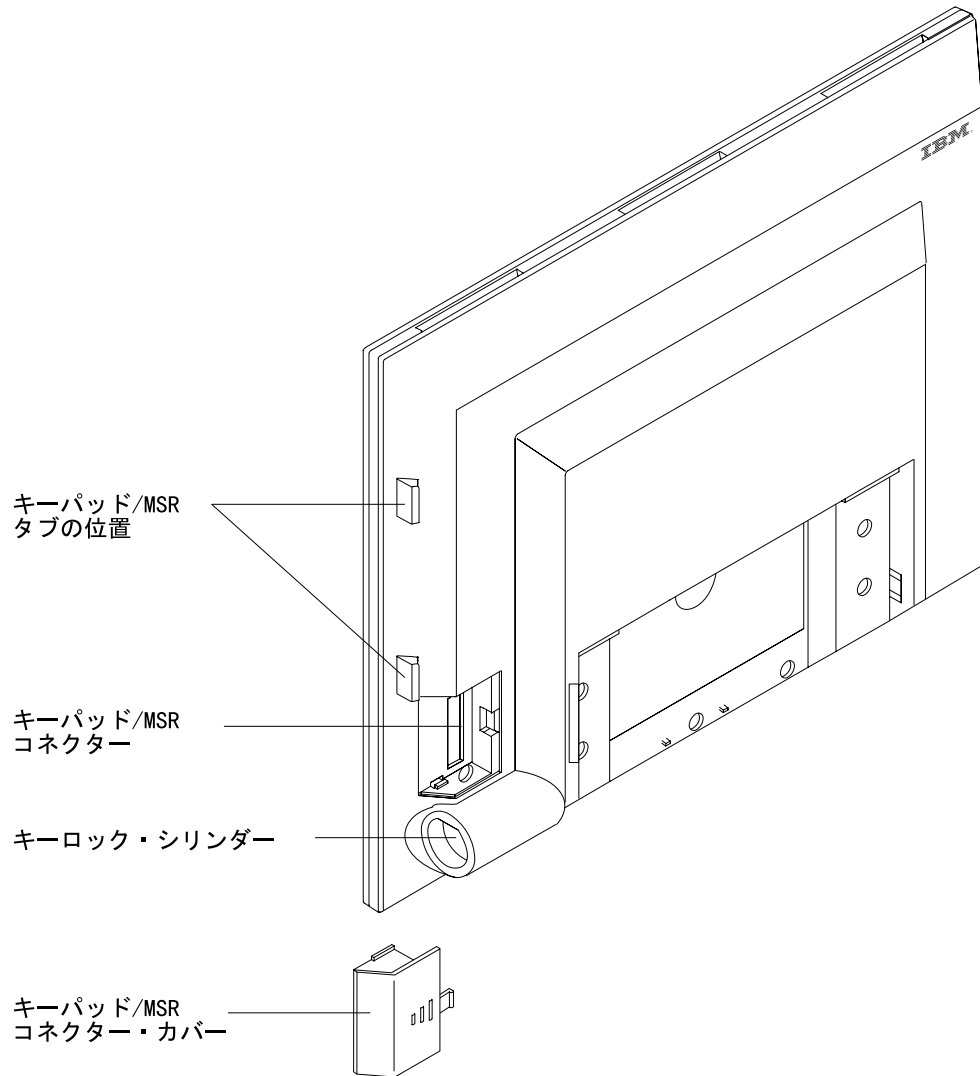


図3. 4820 の背面の外観

ケーブル接続およびケーブル経路

図4 では、4820 SurePoint ソリューションのビデオ・ケーブル・コネクタと 4694 ホスト・ビデオ・ケーブル・コネクタを比較しています。

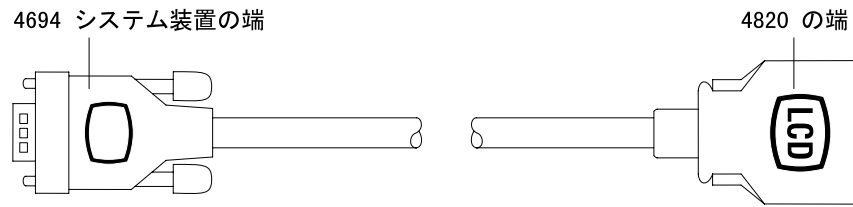


図4. 固有のケーブル・コネクタ

図5 は、4820 SurePoint ソリューションにおけるすべてのケーブル接続を示しています。

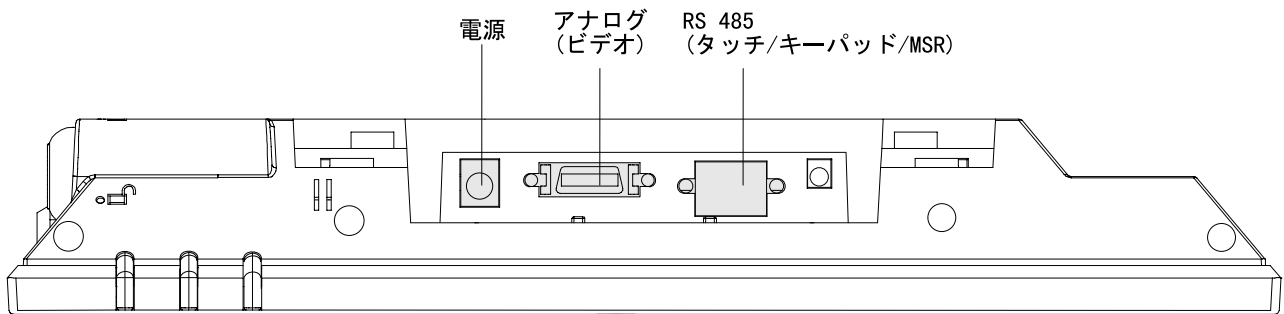


図5. ケーブル・コネクション

電源



アナログ (ビデオ)



RS485 (タッチ/キーパッド/MSR)

4

図6 は、脚柱へのケーブルの経路を示しています。

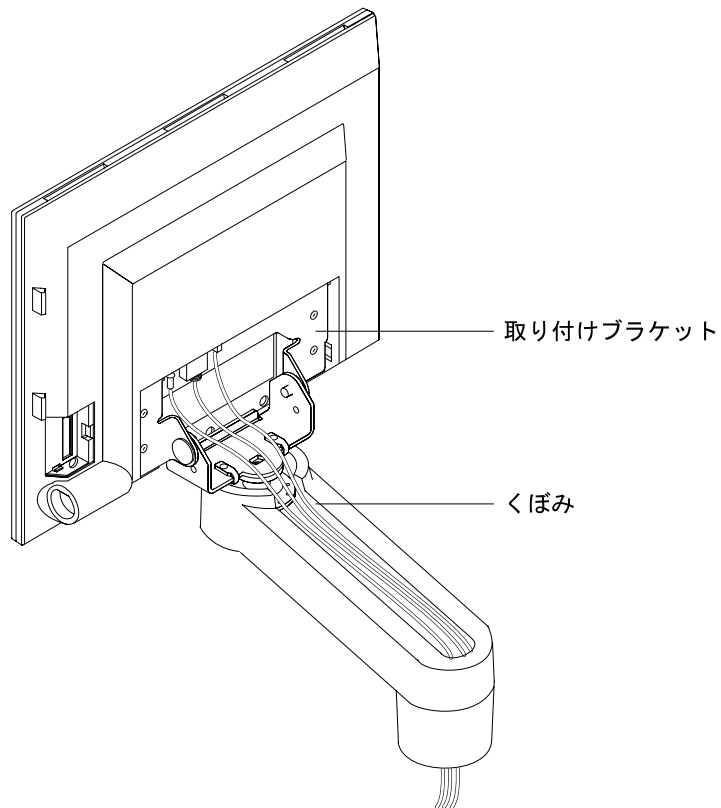


図6. ケーブルの経路

保守の依頼

保守を IBM に依頼する場合、次の情報が必要となることに注意してください。

- マシン・タイプ/モデル
- シリアル番号

この情報は、マシンの背面の右端の下の方にあります。

第2章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの設置

ここでは、4820 SurePoint ソリューションの設置についての手順を説明します。この手順は、次のとおりです。

- ハードウェア・リストの検討
- オプションのフィーチャーの接続
- ケーブルの経路指定
- 統合型脚柱、分離型脚柱、または VESA ブラケットへの 4820 の接続。

ハードウェア・リストの検討

オーダーを変更できる場合でも、次のものが組み込まれています。

- 4820 SurePoint ソリューション装置
- ケーブル
- インストールおよびサービス・ガイド (本書)
- オプションの装置

開始する前に

開始する前に、4820 SurePoint ソリューションが、統合型脚柱または分離型脚柱のどちらを必要とするかを決めてください。20ページの『統合型脚柱の 4820 SurePoint ソリューションへの取り付け』および 22ページの『分離型脚柱の 4820 SurePoint ソリューションへの取り付け』を参照してください。次に、脚柱に 4820 SurePoint ソリューションを取り付ける作業手順を決めます。この作業は、次のとおりです。

1. ディスプレイにオプションのハードウェアを取り付ける。
2. 脚柱を通してケーブルの経路を定めて、4694 システム装置に 4820 ディスプレイを接続する。
3. 脚柱の上にディスプレイを取り付ける。

オプションの取り付け

選択したオプションによってオプションを取り付ける場合、このオーダーを次にしたがって進めることをお勧めします。

1. 管理者用のキーロック
2. キーパッド、または MSR (1 つだけ取り付けることができます)
3. ポインティング・デバイス

注: 4820 SurePoint ソリューション に MSR または MSR 付きのキーパッドのどちらかを接続することができます。

管理者用のキーロックの取り付け

4820 SurePoint ソリューションの空のロック・シリンダー (4ページの図3 を参照してください) は、ロックの挿入に一致するスロットが組み込まれています。このスロットの調整が終了すると、ロックはシリンダーにぴったりと合います。次のステップに従います。

1. 管理者用のキーロックを取り付けるには、空のロック・シリンダーの中を確認してから、スロットの向きを判別します。
2. 空のロック・シリンダーの中にアライナーを差し込むと、アライナーのスロットの向きが、シリンダーのスロットの向きと一致します (図7 を参照してください)。

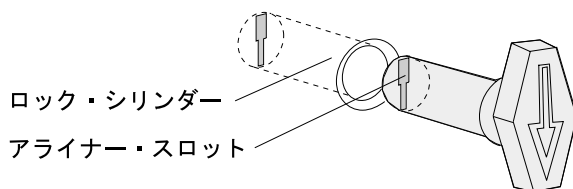


図7. アライナーの配置

3. アライナーを回すと、図7 に示すように、アライナーの矢印が下の方を指します。
4. アライナーを取り外します。
5. ロック・インサートに付いているキーを取り外します。
6. プラス取り付け/取り外しキーを完全にロック・インサートの中に入れます。
7. ロック・キーとプラス・キーを保持すると、図8 に示すように、キーは同じ方向になります。

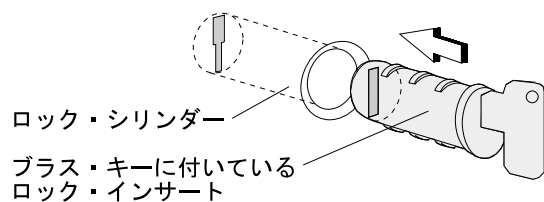


図8. ロック・インサートとプラス・キー

8. ロック・インサートとプラス・キーを空のロック・シリンダーの中に完全に押し込みます。
9. ロック・インサートを指で押さえて、プラス・キーを抜きます。
10. キーを使用してロックが正しく動作することを確認して、ロックのテストをします。
11. 9ページの『キーパッドの接続』 および 15ページの『ケーブルの経路指定』に説明されているように設置作業を続けます。

キーパッドの接続

4820 SurePoint ソリューションにキーパッドを接続するには、次のステップに従います。

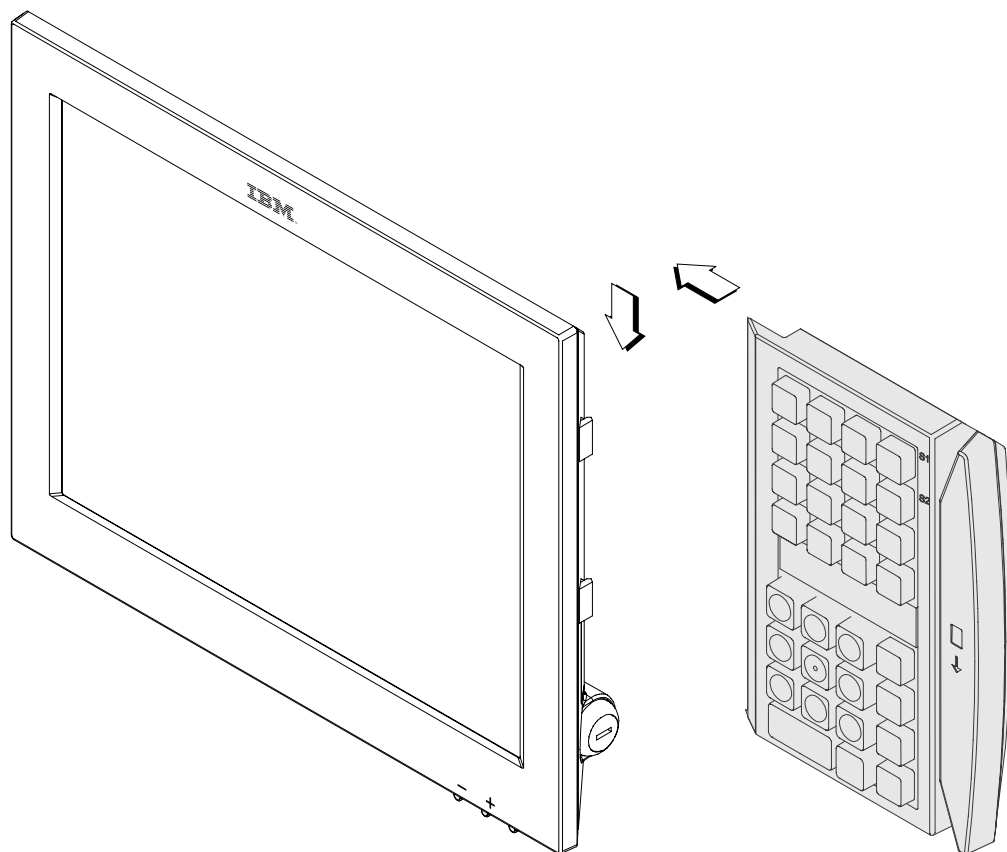


図9. キーパッド付きの 4820 SurePoint ソリューション

1. カバーを引き出して 4820 の背面から MSR/キーパッド・コネクタ・カバーを取り外します。このコネクタ・カバーを廃棄します。
2. 図9 を参照してください。4820 の端にキーパッドを合わせると、4820 の上部の端がキーパッドの上部と位置が合います。所定の位置に固定するまで下の方にキーパッドをスライドします。
3. MSR/キーパッド・コネクタにキーパッド・ケーブルを接続します。

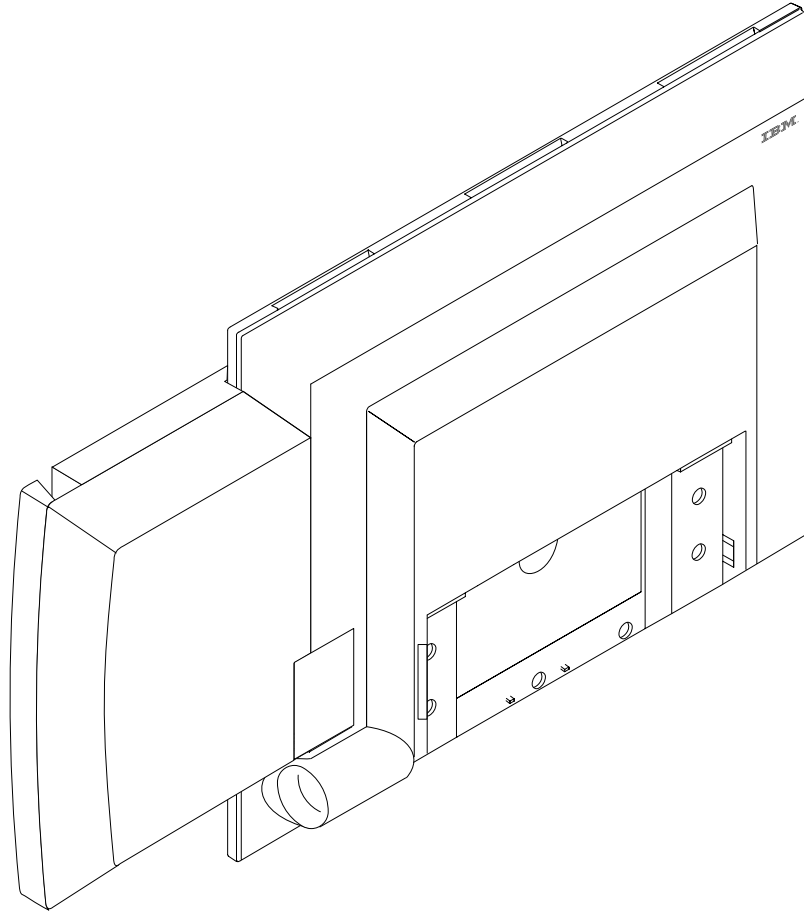


図 10. 接続したキーパッドの背面の外観

4. キーパッドと一緒に出荷された取り替え用のコネクター・カバーを取り付けます。
5. 次のオプションの取り付けを続けます。

磁気ストライプ読取装置 (MSR) の接続

4820 SurePoint ソリューションに MSR を接続するには、次のステップに従います。

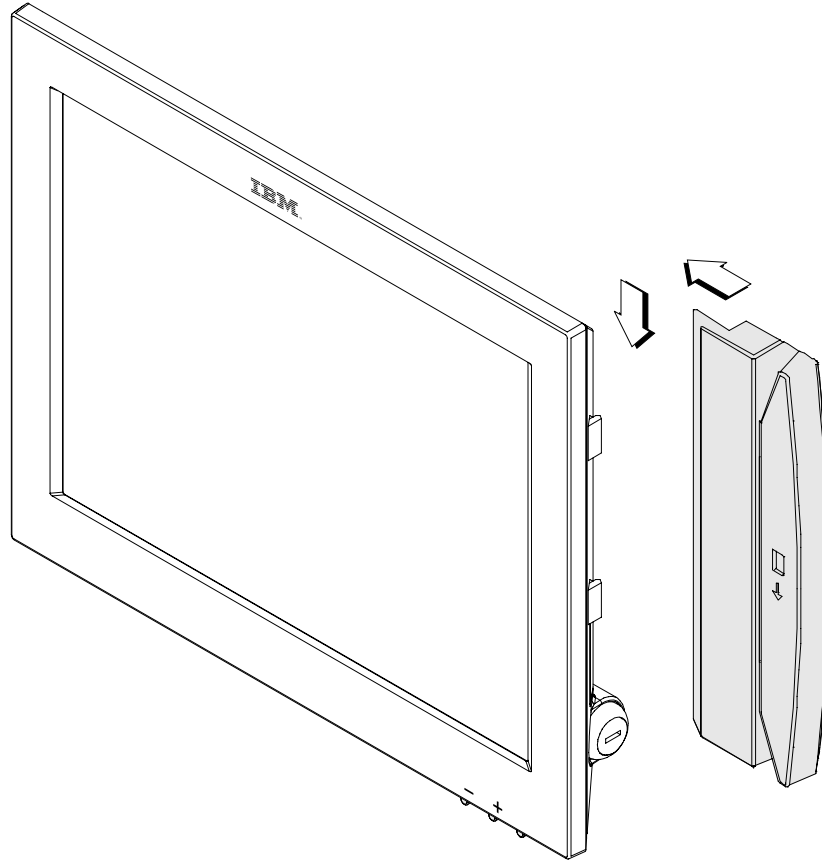


図 11. MSR 付きの 4820 SurePoint ソリューション

1. カバーを引き出して 4820 の背面から MSR/キーパッド・コネクタ・カバーを取り外します。このコネクタ・カバーを廃棄します。
2. 図11 を参照してください。MSR の位置合わせをすると、LCD の上端が MSR の上部と位置が合います。所定の位置に固定するまで MSR を下の方にスライドします。
3. MSR コネクタに MSR ケーブルを接続します。
4. MSR と一緒に出荷された新しいコネクタ・カバーを取り付けます。
5. 15ページの『ケーブルの経路指定』を参照して、設置作業を続けます。

ポインティング・デバイスの接続

注: 13ページの図13 に示すように、4820 とポインティング・デバイスの位置合わせを行うことを想定して、次のステップに従ってください。

4820 SurePoint ソリューションにポインティング・デバイスを接続するには、次のステップに従います。

1. ポインティング・デバイス用のタブが 4820 の背面に付いていることを確認してから、この作業を開始してください (図12 を参照してください)。

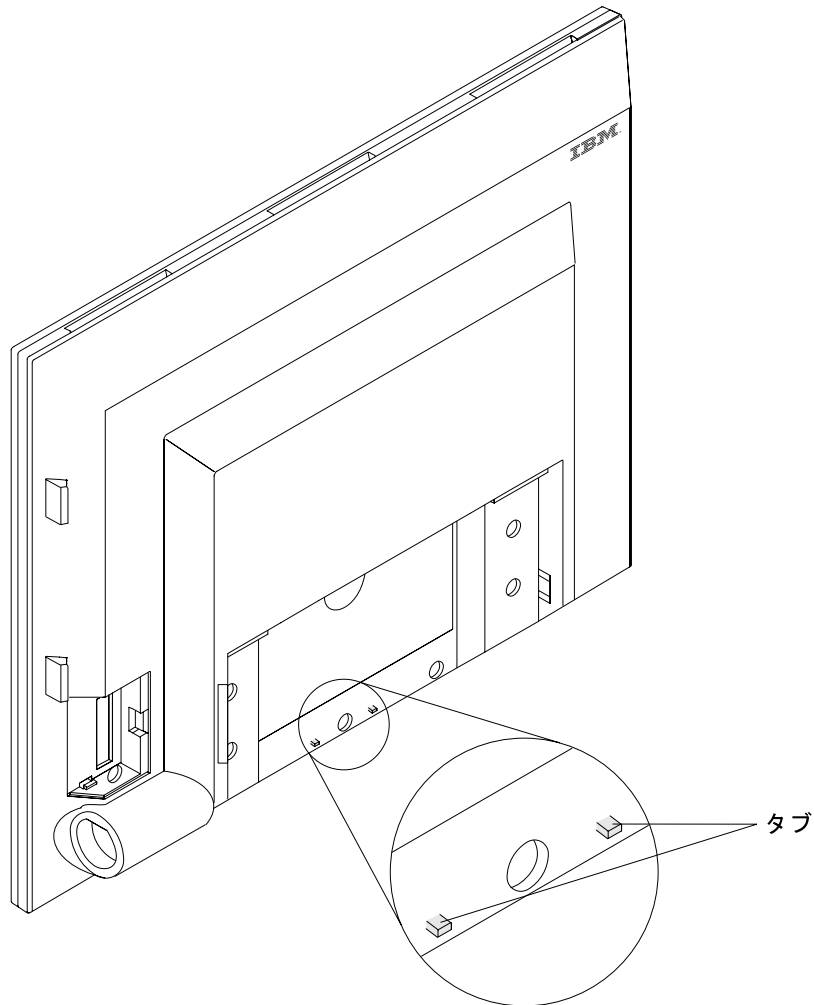


図12. ポインティング・デバイス接続用のタブ

2. 4820 SurePoint ソリューションの中央の右寄りにポインティング・デバイスの位置合わせをします (13ページの図13 を参照してください)。

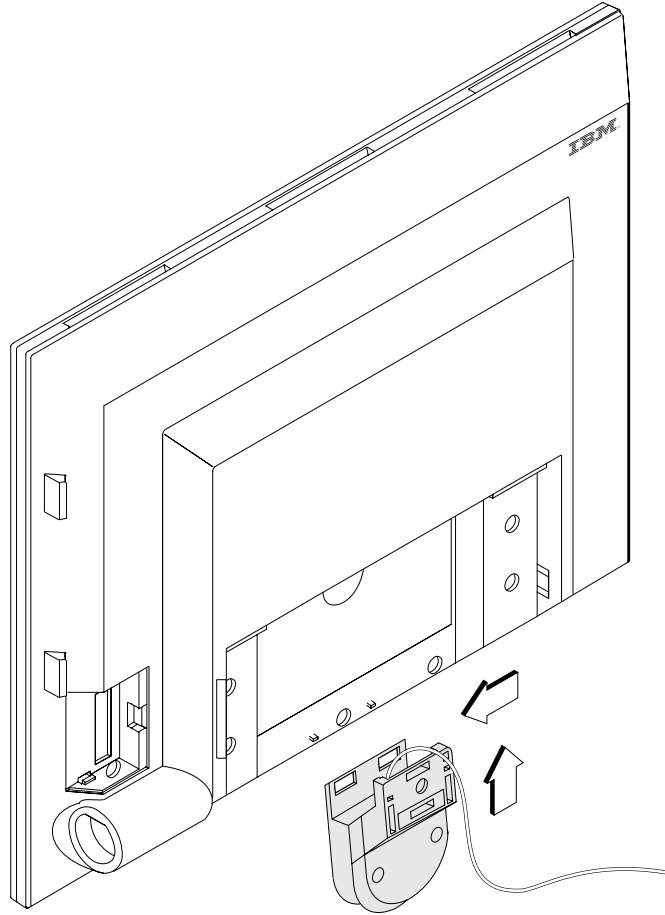


図 13. オプションのポインティング・デバイス付きの 4820 SurePoint ソリューション

3. 所定の位置に固定するまで下の方にポインターをスライドします。
4. ディスプレイの背面に取り付けねじを取り付けます。
5. 15ページの『ケーブルの経路指定』に説明されているように設置作業を続けます。

分離型脚柱のカウンターへの取り付け

分離型脚柱には、脚柱の長さが低いものと高いものとの 2 種類があります。両方の脚柱は、カウンターに固定しますが、取り付け方法は同じです。図14 は、長い方の脚柱の例で、取り付ける順序を示しています。

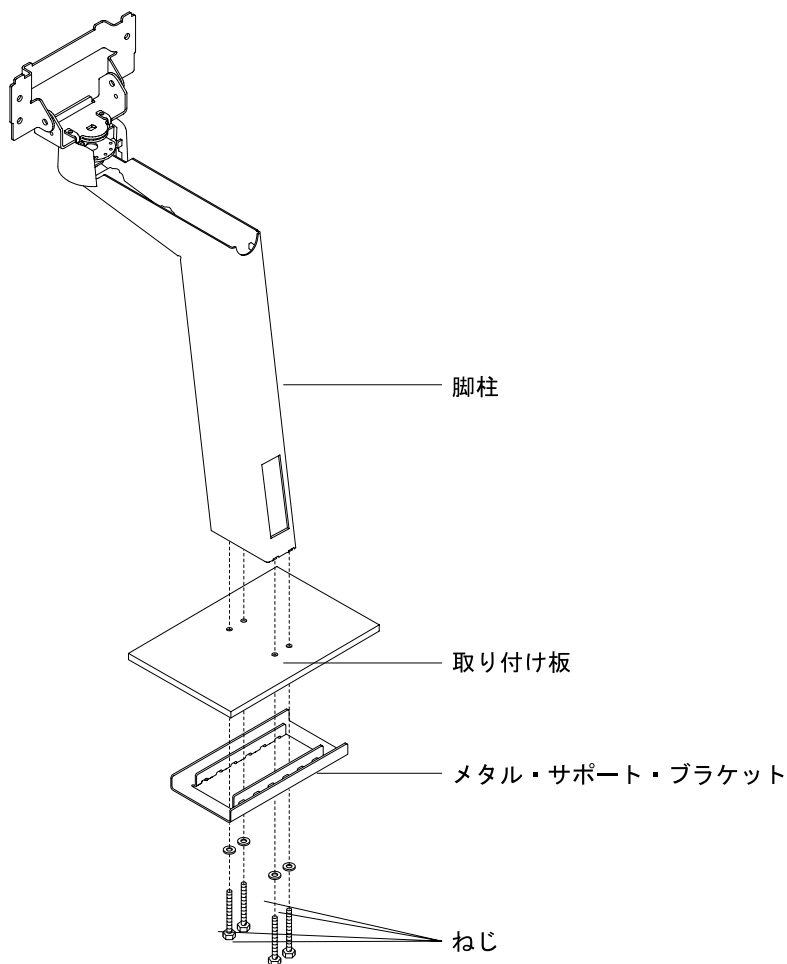


図 14. 分離型脚柱の取り付け図

カウンターに分離型脚柱を接続するには、次のステップに従います。

1. ガイドのようなテンプレート (39ページの図27 を参照してください) を使用して、カウンターを介して穴をあけるためのねじの位置にマークを付けます。8 mm または 5/16 インチ・ビットを使用して、ねじ 4 本の穴をあけます。

注: カウンターを介してケーブルの経路を定めるには、カウンターに 7/8 インチの穴を 2 つあけます。小さなこぎりかのみで穴の間にある残っている材料をきれいに削ります。39ページの図27 を参照してください。

2. 脚柱を置いてから、付いてきたボルトでカウンターのねじの穴に位置を合わせます。
3. 図14 に示すように、M6 ねじ 4 本を使用して、カウンターに脚柱をしっかりと取り付けます。メタル・サポート・ブラケットに付いているスロットは、極めて高い安定度で脚柱を取り付けることができます。

- 『ケーブルの経路指定』を続けます。

ケーブルの経路指定

4820 SurePoint ソリューションの分離型および統合型脚柱を介して経路指定するケーブルのリストを次に示します。

- ビデオ
- 電源機構
- RS485 (タッチ/キーパッド/MSR)
- ポインティング・デバイス (接続ケーブル付き)

手早く簡単に取り付けるには、次の順序でケーブルの経路を定めるようにお勧めします。

ステップ 1: ビデオ・ケーブルおよび電源ケーブルの経路指定

分離型脚柱

注: 最初にビデオ・ケーブルの経路を定めると、電源ケーブルの経路を容易に定めることができます。

1. 分離型脚柱から細長いくぼみのあるカバーを取り外します。

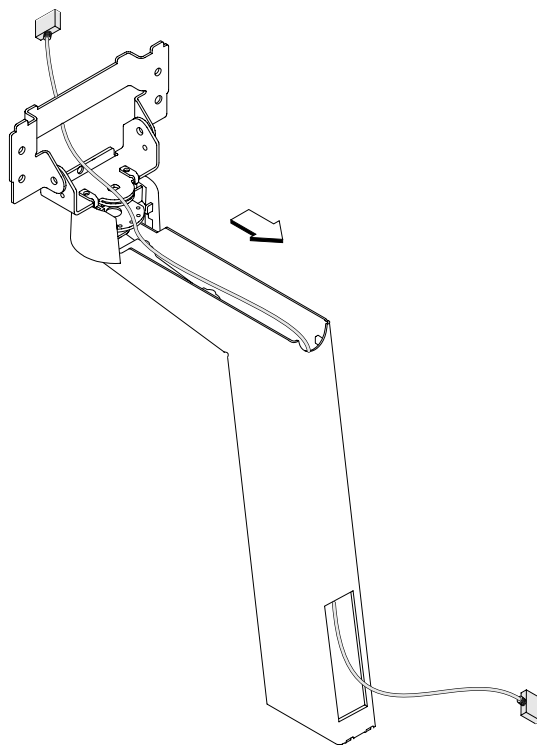


図 15. ビデオ・ケーブルを経路指定する方向

2. 15ページの図15 に示すように、分離型脚柱の中を通して下の方にビデオ・ケーブルの経路を定めて、接続しないでそのままにしておきます。

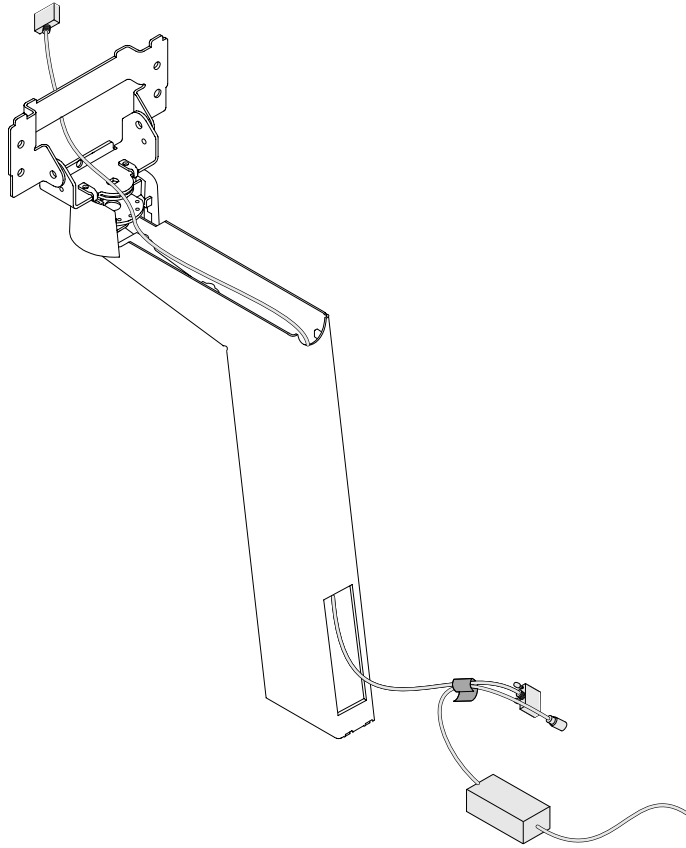


図16. Velcro ストリップの使用

3. 図16 に示すように、電源ケーブルに付いている velcro ストリップを使用して、電源ケーブルをビデオ・ケーブルと一緒にまとめます。

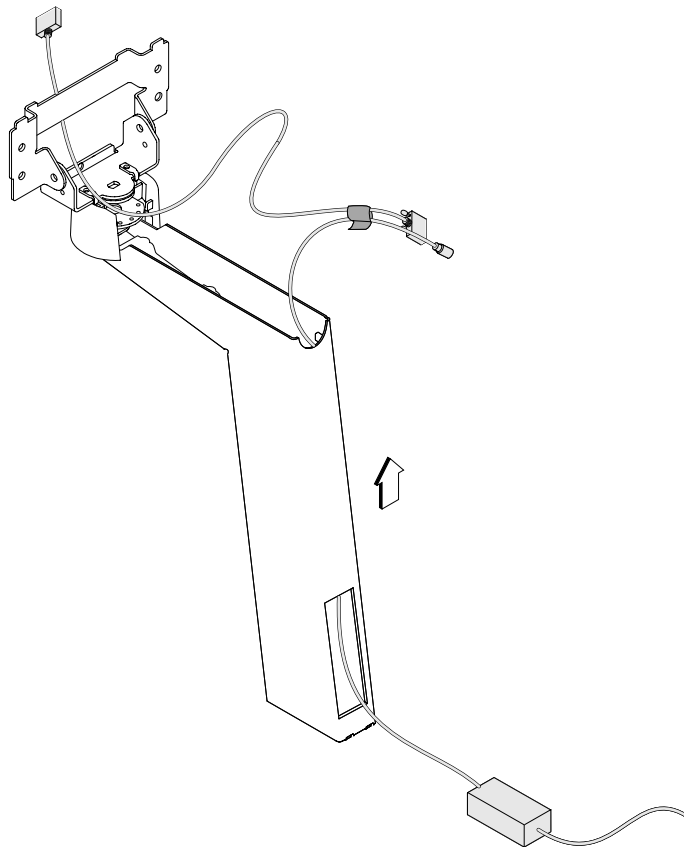


図 17. ビデオ・ケーブルと電源ケーブルの経路指定

4. 分離型脚柱の中を通してビデオ・ケーブルと電源ケーブル接続機構を上の方へ引き出します。図17 を参照してください。
5. 分離型脚柱と 4694 の大きな側面の開口部を通してビデオ・ケーブルを下の方に再度経路指定します。
6. 4694 の適切なポートにケーブルを接続します。

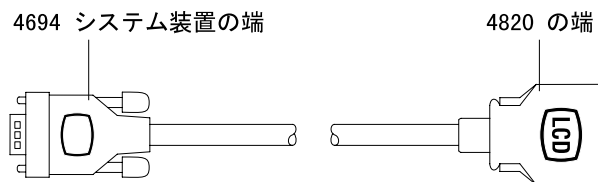


図 18. ケーブル接続の検討

注: 4820 ディスプレイにビデオ・ケーブルと電源ケーブルを接続してはなりません。

統合型脚柱

1. 4694 システム装置の適切なポートにビデオ・ケーブルを接続します。
2. 4694 の大きな側面の開口部を通して 4820 用のビデオ・ケーブルと電源ケーブルの経路を定めます。

3. 統合型脚柱の底を通してこれらのケーブルを上の方に別々に経路を定めます。
図19 を参照してください。

注: ビデオ・ケーブル・コネクターの方に脚柱アームを回して、開口部を通して正確に合わせる必要があります。

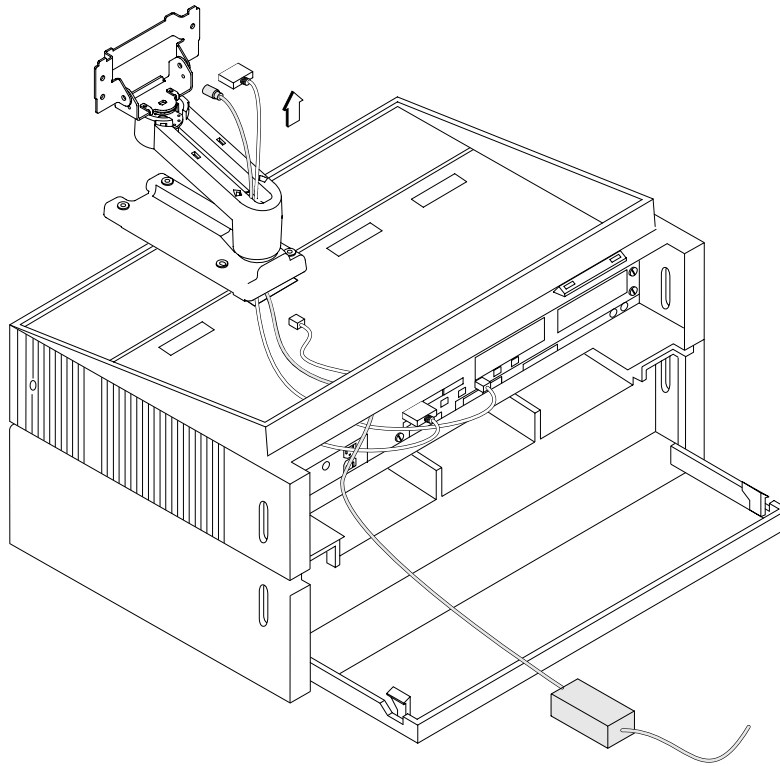


図 19. 統合型脚柱を通したケーブルの経路指定

ステップ 2: ポインティング・デバイスの経路指定 (統合型および分離型)

注: ポインティング・デバイスの経路を定めてから、取り付けブラケットに 4820 ディスプレイを接続してください。

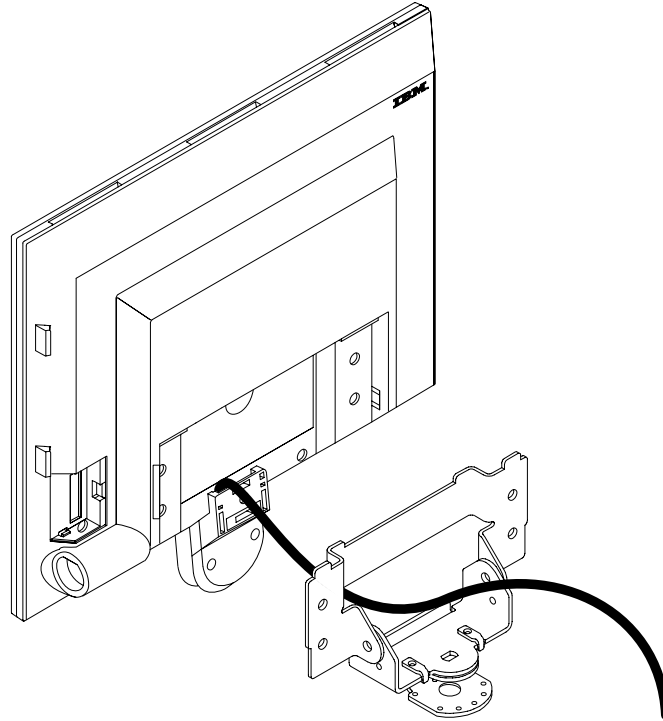


図 20. ポインティング・デバイス・ケーブルの経路

1. 図20 を参照して、取り付けブラケットの真ん中の開口部を通してから脚柱を通して下の方にある細長いくぼみにポインティング・デバイス・ケーブルの経路を定めます。
2. 4694 のマウス・ポートにケーブルを接続します。

ステップ 3: RS485 ケーブルの接続と経路指定 (統合型および分離型)

1. ディスプレイの背面にある適切なポートに RS485 ケーブルを接続します。

注:

- a. 取り付けブラケットの真ん中の開口部を通してケーブルの経路を定めてはなりません。
 - b. 4820 SurePoint ソリューションは、4694 システム装置のポート 4 またはポート 9 に接続することができます。4694 のシステム・ドキュメンテーションを参照して、お使いのシステムの正しいポートを識別してください。
2. 脚柱のタイプに応じて、次の説明に従います。
 - **分離型脚柱:**
 - a. 分離型脚柱を通してケーブルの経路を定める。
 - b. 4694 システムにケーブルを接続する。
 - **統合型脚柱:**
 - a. 脚柱にケーブルを通してから、4694 の大きな側面の開口部を通して下の方にケーブルの経路を定める。
 - b. 4694 の適切なポートにケーブルを接続する。

『統合型脚柱の 4820 SurePoint ソリューションへの取り付け』および 22ページの『分離型脚柱の 4820 SurePoint ソリューションへの取り付け』を参照して、設置作業を続けます。

統合型脚柱の 4820 SurePoint ソリューションへの取り付け

図21 は、統合型脚柱のパーツを説明しています。

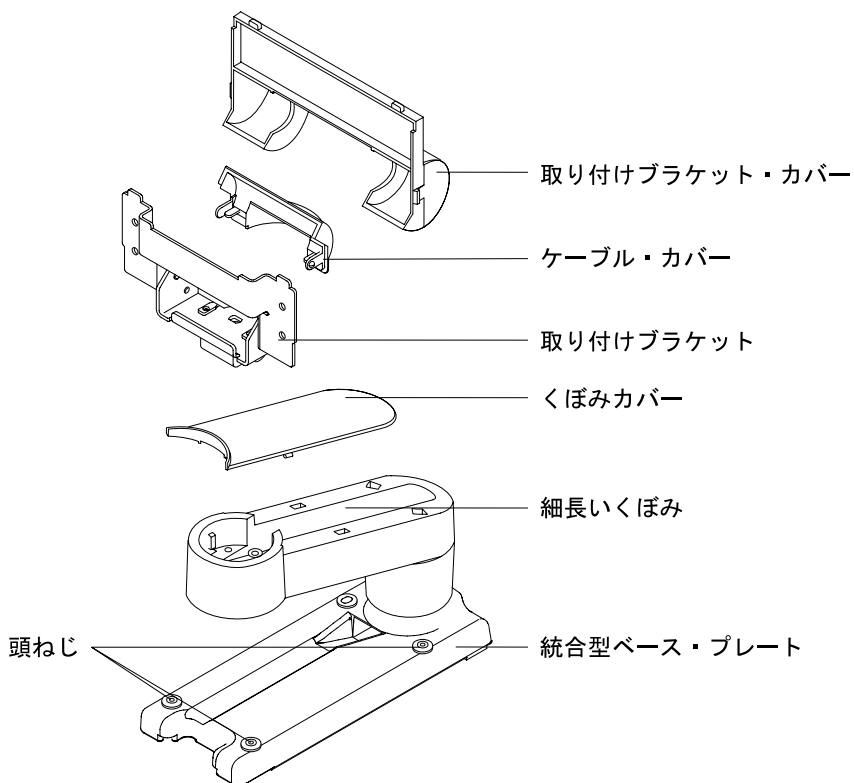


図 21. 統合型脚柱のパーツ・リスト

統合型脚柱に 4820 を接続するには、次のステップに従います。

1. すべてのステップをお読みになってから、開始します。
2. 4820 ディスプレイにすべてのオプションの装置が取り付けられていることを確認します。7ページの『オプションの取り付け』を参照してください。
3. 15ページの『ケーブルの経路指定』のステップに従って、ケーブルの経路が指定されていることを確認します。
4. 4694 に脚柱を取り付けます。
 - a. 4694 にある穴に統合型のベース・プレートの穴の位置を合わせます。
 - b. つまみねじ 3 本でしっかりと締めます。
5. 脚柱の上に 4820 を取り付けます。
 - a. 脚柱取り付けブラケットの上にディスプレイを置きます。脚柱の上にあるメタル・タブが、4820 ディスプレイの背面に付いている適切なスロットの中に入っていることを確認します。
 - b. ねじ 4 本を使用して、脚柱に 4820 を取り付けます。

- c. 4820 ディスプレイに電源ケーブルとビデオ・ケーブルを接続します。この時点で、4820 ディスプレイにビデオ・ケーブル、電源ケーブル、および RS485 ケーブルが接続されているはずです。
- 6. 4694 システム装置の背面にある適切なポートにケーブル類が接続されていることを確認します。
- 7. カバーを取り付けます。
 - a. 取り付けブラケットにケーブル・カバーを取り付けてから、取り付けブラケットの横にある小さな穴にカバーの側面に付いているタブをカチッと閉じます。

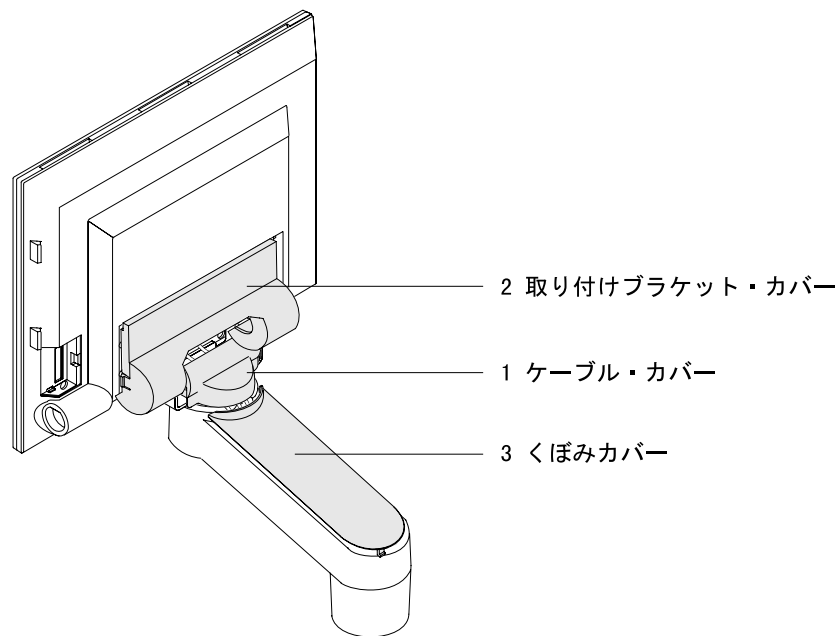


図 22. 統合型脚柱カバー

- b. ディスプレイの背面に取り付けブラケット・カバーを取り付けます。ディスプレイの背面にある適切なスロットにカバーに付いているタブを入れて、カチッと閉じて固定します。
- c. 統合型脚柱の細長いくぼみの上にくぼみカバーをカチッと閉じて固定します。
- 8. コンセントに電源機構の電源コードを接続します。
- 9. 4694 システム装置の電源を入れます。24ページの『電源オン』を参照してください。

分離型脚柱の 4820 SurePoint ソリューションへの取り付け

図23 に示されているパーツの図を検討して、分離型脚柱に 4820 ディスプレイを取り付けるために、次のステップに従います。この図は、低い脚柱の例です。

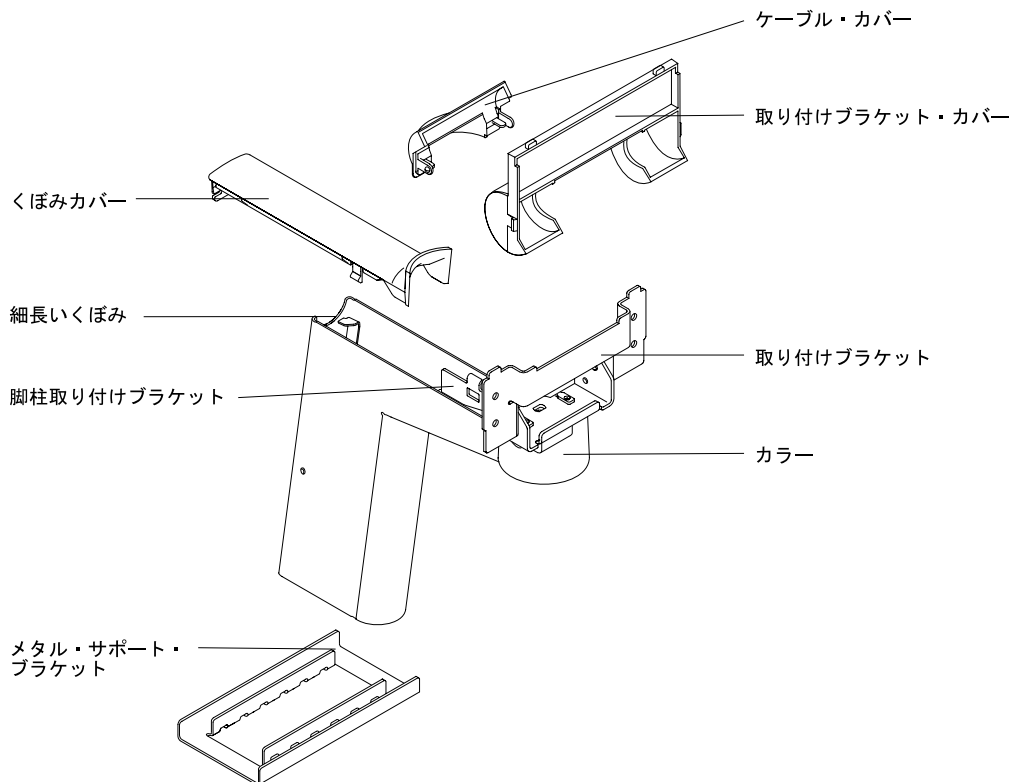


図 23. 分離型脚柱のパーツ・リスト

1. すべてのステップをお読みにってから、開始します。
2. 4820 ディスプレイにすべてのオプションの装置が取り付けられていることを確認します。14ページの『分離型脚柱のカウンターへの取り付け』および 7ページの『オプションの取り付け』を参照してください。
3. 脚柱の上に 4820 を取り付けます。

注: ブラケットの上にディスプレイを置く前に、ポインティング・デバイス・ケーブルが、取り付けブラケットの真ん中を通してから細長いくぼみを介して経路を定められていることを確認してください。

- a. 分離型脚柱の上に 4820 ディスプレイを置きます。取り付けブラケットの上にあるメタル・タブが、4820 ディスプレイの背面に付いている適切なスロットの中に入っていることを確認します。
 - b. ねじ 4 本を使用して、取り付けブラケットに 4820 を取り付けます。
4. 4820 ディスプレイに電源ケーブルとビデオ・ケーブルを接続します。この時点で、ディスプレイに電源ケーブル、ビデオ・ケーブル、および RS485 ケーブルが接続されています。

注: ビデオ・ケーブルと RS485 ケーブルが 4694 システム装置に接続されていることも確認してください。

5. 取り付けカバーを取り付けます。
 - a. 図24 を参照してください。取り付けブラケットにケーブル・カバーを取り付けてから、ブラケットの横にある小さな穴にカバーの側面に付いているタブをカチッと閉じます。

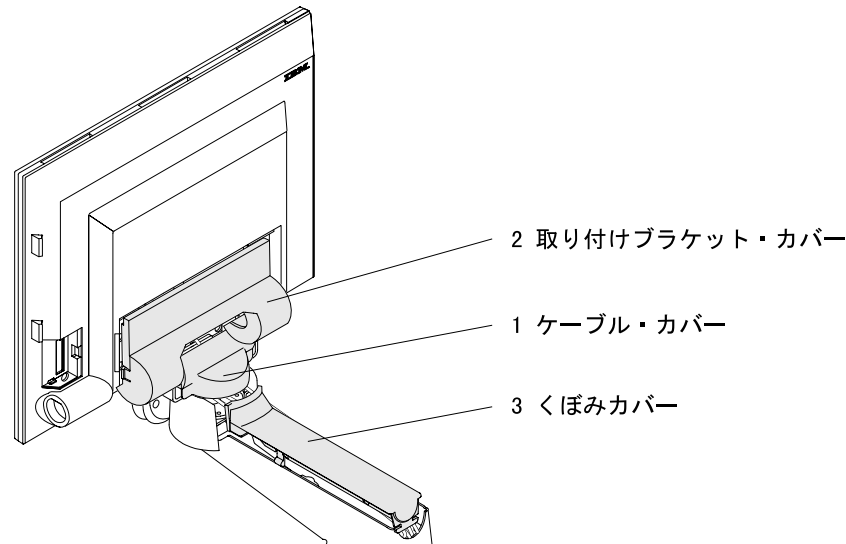


図 24. 分離型脚柱カバー

- b. ディスプレイの背面に取り付けブラケット・カバーを取り付けます。ディスプレイの背面にある適切なスロットにカバーに付いているタブを入れて、カチッと閉じて固定します。
 - c. 分離型脚柱の細長いくぼみの上にくぼみカバーをカチッと閉じて固定します。
6. コンセントに電源機構の電源コードを接続します。
7. 4694 システム装置の電源を入れます。24ページの『電源オン』を参照してください。

VESA ブラケットの 4820 SurePoint ソリューションへの取り付け

IBM は、Video Electronic Standards Association (VESA) FPMPMI (Flat Panel Monitor Physical Mounting Interface) に適応した取り付けブラケットを用意しています。この規格は、75 mm の四角い格子の上にねじ穴が 4 つあいているブラケットを必要とします。

VESA ブラケットに 4820 を接続するには、次のステップに従います。

1. 4820 の背面にある適切なポートにケーブル類 (キーボード/MSR/タッチ、ビデオ、電源) を接続します。
2. ねじ 4 本を使用して、4820 に VESA ブラケットを取り付けます。
3. 製品と一緒に出荷された取扱説明書に従って、VESA 対応の取り付けアームに VESA ブラケットを取り付けます。
4. コンセントに電源機構の電源コードを接続します。

5. 4694 システム装置の電源を入れます。『電源オン』を参照してください。

電源オン

電源機構は、4820 SurePoint ソリューション用の電源を供給します。

1. 電源コンセントに電源機構の電源コードを接続します。4820 の電源 LED が点灯して、オレンジ色 (こはく色) になります。
2. システム装置の電源をオンにします。4820 とシステム装置の間の通信が確立すると、LED は緑色になります。

注: *No Video/DPMS* (ビデオ/DPM がない) のメッセージが、すぐ画面に表示されてから、通信が確立されます。

4820 のデフォルト・モードは、スタンバイです。4694 システム装置の電源をオンにすると、4820 の電源もオンになります。

システム・ソフトウェアの入手

IBM ストア・ソリューションのインターネット・サイトである www.ibm.co.jp/store/ (「ストア・ソリューション」のページから「ダウンロード」、「4820」をクリックする) から 4820 SurePoint ソリューション用の適切なソフトウェアを入手することができます。

- 4694/4695/ISA サービス・ディスク、バージョン 5.30 またはそれ以降 (38 VDC 用)、バージョン 4.02 またはそれ以降 (24 VDC 用)
 - Windows 版 POSS
 - DOS 版 POSS
 - OPOS ドライバー

サポートされるビデオ・モード

表4 は、サポートされるビデオ・モードと周波数を示しています。

表4. サポートされるビデオ・モードと周波数

モード	サポートされる周波数
SVGA	56、60、72、75 Hz
VGA	60、70、72、75 Hz

システム・ビデオ信号がサポートされていない場合、スクリーン内の表示 (OSD) が明滅して、メッセージが表示されます。

Windows 設定要件

Windows オペレーティング・システムで 4820 SurePoint ソリューションを設置した場合、ディスプレイ設定が 800 x 600 になっていることを確認してください。この設定を使用して障害が起こる場合、*Unsupported Video Mode* (サポートされないビデオ・モード) のメッセージが表示されます。

注: 4820 は、640 x 480 の VGA 設定で動作しますが、ビデオ品質はよくありません。

第3章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの操作

ここでは、役に立つヒントと 4820 SurePoint ソリューションの操作の手順を説明します。

快適さを最大限にする

次の役に立つヒントに従って、快適であることを確認してから、ディスプレイの使用を開始します。

- 頭を快適な目視位置にします。
- 快適な目視距離に設定します。
- 天井の光りや外の光源からのまぶしさや反射を防ぐような場所にディスプレイを置きます。
- 柔らかい、乾いた布で定期的にクリーニングすることによって、ほこりやちりからスクリーンをきれいにします。
- はっきりと見ることができる輝度レベルに設定します。
- 指で、使用するのに必要な強さでタッチスクリーンだけを押します。タッチスクリーンを強くたたいてはなりません。
- タッチスクリーンを押すのにペンを使用してはなりません。

注: 指以外の任意のポインティング・エイドでタッチ・センサーを活動化することはできません。

タッチスクリーンのクリーニング

ほこりやちりが付かないようにタッチスクリーンを保つには、タッチ・センサーで効果的な操作ができるようになります。次のガイドラインに従います。

- アルコールか研磨材やアンモニアが含まれていないクリーナーと一緒に柔らかく、乾いた布を使用します。

注: クリーニング材を直接スクリーンに使用してはなりません。常にクリーニング用の布の上にクリーナーを吹きかけてからスクリーンをふき取ってください。

- 表面を丁寧にふき取ります。
- 表面が乾くまで数分間待ってから使用することができます。

表示イメージの調整

ここでは、輝度調節の使用方法とスクリーン内の表示 (OSD) メニューの説明をします。

輝度調節の使用

プラス (+) キーまたはマイナス (-) キーを押しながら、スクリーンの輝度を調節します (図25 を参照してください)。

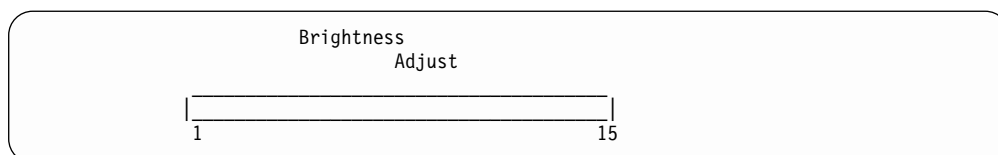


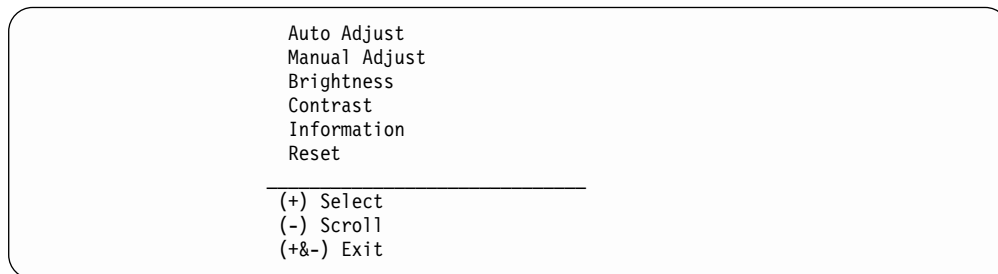
図 25. 輝度メニュー

プラスまたはマイナスのキーを押すと、メニューには 1 と 15 の間の輝度のレベルを表示します。希望するレベルに合わせると、押しているキーを離します。おおよそ 5 秒後、輝度メニューが消えて、システムは設定した値を保管します。

OSD メニューの使用

OSD メニューは、コントラスト、輝度、クロック位相、およびイメージ位置のようなディスプレイの設定値を調整することができます。

OSD メニューを開くには、マイナス (-) ボタンとプラス (+) ボタンを同時に押してそのまま保持します。次のメニューが表示されます。



自動調整

自動的にビデオ設定値を調整します。ディスプレイを取り付ける場合や取り付けた後でイメージの品質が低下している場合、このオプションを使用します。29ページの『自動調整補助ファイルの使用』を参照してください。

手動調整

クロック、位相、およびイメージ位置を調整することができます。29ページの『手動調整の使用』を参照してください。

輝度 ディスプレイの輝度設定値を調整することができます。

コントラスト

ディスプレイのコントラスト設定値を調整することができます。

情報 現行のスクリーン解像度、水平および垂直同期信号周波数を提供します。

リセット

デフォルト値にメニュー設定値をリセットすることができるように、Yes (はい) または No (いいえ) のダイアログ・ボックスを表示します。

OSD メニューの終了

OSD メニューを終了するには、マイナス (-) ボタンとプラス (+) ボタンを同時に押します。システムは、設定した値を保管します。

タイムアウトを介して終了: 使用しない状態が約 20 秒続いた後、OSD メニューはタイムアウトになります。これが起きると、一部のパラメーターが保管されます (RAM および ROM の両方)。たとえば、手動で垂直位置を調整してタイムアウトで OSD メニューが終了すると、垂直位置は調整された値で保管します。

手動調整の使用

通常、**自動調整**が最適なデフォルト値でパラメーターを設定しているので、**手動調整**を使用する必要はありません。しかし、**手動調整**を使用すると、次のことができます。

- スクリーン・ノイズの低下
- スクリーン表示位置とサイズの調整

ノイズと垂直ストライプを減少するには、位相とクロックのパラメーターを調整します。

自動調整補助ファイルの使用

自動調整補助ファイルは、表示イメージが満足できない場合に、補足のサポートを提供します。

用途

OSD メニューの**自動調整**および**手動調整**フィーチャーを使用して、満足できない結果が得られた場合にだけ、このファイルを使用します。お使いの PC ビデオ信号を基にして自動的に細かい調整を行うので、**自動調整**を頻繁に使用することができます。

DOS ユーザー

注: DOS ユーザーは、フルスクリーンで表示される特別のパターンで**自動調整**を実行する必要があります。

DOS ユーザー用に自動調整補助ファイルを実行するには、次のステップに従います。

1. サポートするインターネット・サイト¹ から *4820Patt.exe* プログラムをダウンロードしてから、ディスクットを作成します。このファイルは、特別のイメージ・パターンを生成します (31ページの図26 を参照してください)。
2. ディスクットを使用するか、または DOS コマンド・プロンプトからシステムをブートして、*DOS_PAT.exe* を実行します。640 x 480 のテキスト・パターンが 1 画面表示されます。
3. マイナス (-) とプラス (+) ボタンを押して、OSD メニューを開きます。
4. **自動調整**を選択します。

1. www.ibm.co.jp/store/ で「ダウンロード」、「4820」をクリックします。

5. 調整が完了した後で、キーボードのキーのどれかを押します。720 x 400 のテキスト・パターンが 1 画面表示されます。
6. **自動調整**を選択します。
7. 完了すると、マイナス (-) ボタンとプラス (+) ボタンを同時に押して、OSD メニュー終了し、調整を保管します。

注:

- a. スクリーン・フリッカーが出た場合、ステップ 3 ~ 7 を繰り返すか、または**手動調整**を選択します。
- b. キーのどれかを押して、特別のイメージ・パターンを終了します。

Windows ユーザー

Windows ユーザー用に自動調整補助ファイルを実行するには、次のステップに従います。

1. サポートするインターネット・サイト¹ から 4820Patt.exe プログラムをダウンロードして、ディスクットを作成します。このプログラムは、特別のイメージ・パターンを生成します (31ページの図26 を参照してください)。
2. コマンド・プロンプトから、win_pat.exe を実行します。テキスト・パターンが 1 画面表示されます。
3. 特別のイメージ・パターンが表示されると、マイナス (-) とプラス (+) ボタンを押して、OSD メニューを開きます。
4. **自動調整**を選択します。
5. 完了すると、マイナス (-) ボタンとプラス (+) ボタンを同時に押して、OSD メニュー終了します。

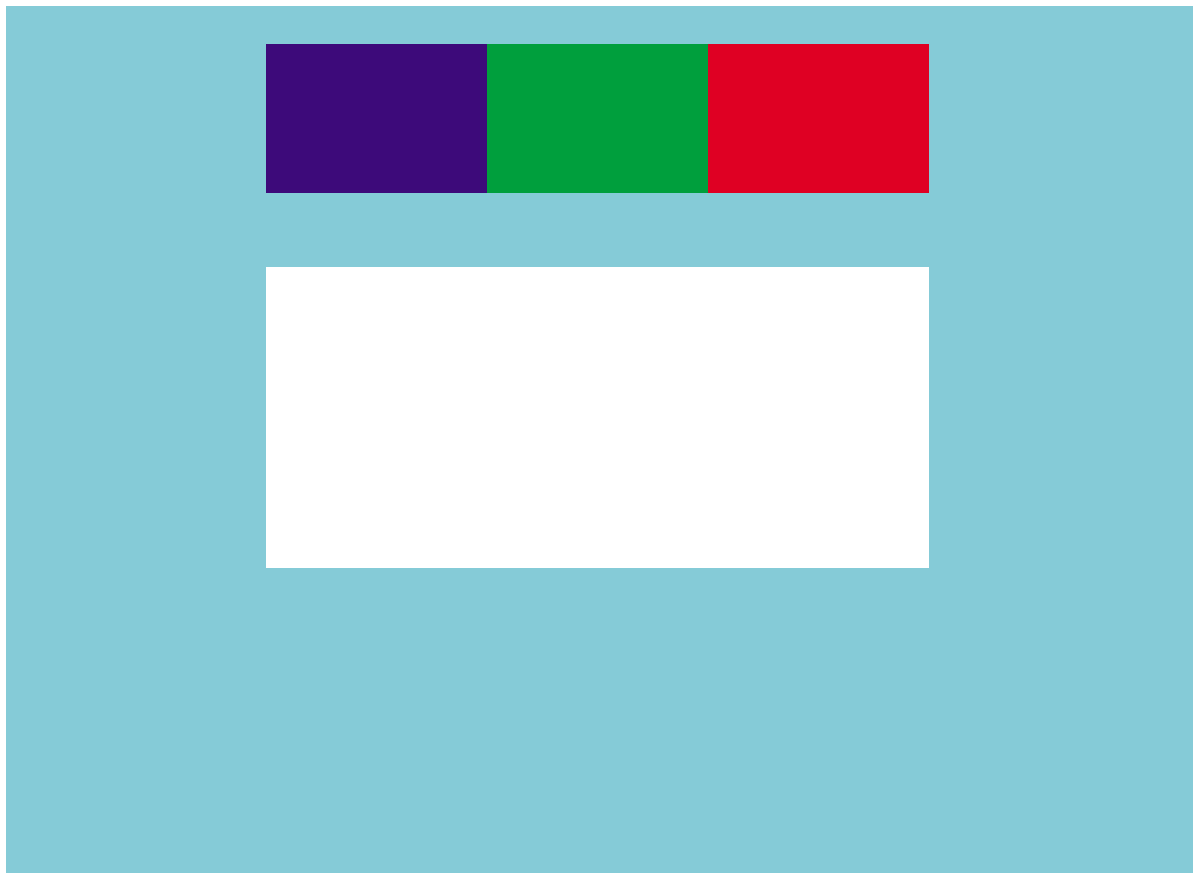


図 26. 自動調整補助ファイルを使用したパターンの表示

第4章 IBM 4820 SurePoint ソリューションの保守

ここでの情報は、4820 SurePoint ソリューションを保守する責任を有する方を対象にしています。

LED 状態

4820 SurePoint ソリューションには、緑色とオレンジ色 (こはく色) のデュアル・カラーの LED があります。モニター電源管理状態は、LED の点灯を決めます。緑色はすべての電源の使用を指していて、オレンジ色はスタンバイまたはサスペンド・モードを指しています。

共通の問題の障害追及

ここでは、いくつかの共通の問題が記載されており、その処置について説明しています。

注: イメージの問題は、4694 システムの問題として取り扱うこともできます。

説明の条件	解決方法
ディスプレイ上の電源インディケーターがオフになっている	<ul style="list-style-type: none">電源機構の電源ケーブルがコンセントに差し込まれていることを確認して、電源ケーブルをもう一度差し込みます。電源障害のチェックをします。必要であれば、ディスプレイを取り替えます。
電源 LED がオレンジ色 (こはく色) になっている	スタンバイ・モード、ホストと 4820 間の通信がまだ確立していません。
電源 LED 緑色になっている	操作モード。
タッチ・ディスプレイにタッチしても何も表示しない	<ul style="list-style-type: none">スクリーンにタッチするのに指先だけを使用していることを確認します。タッチスクリーンに必要な強さでだけ押します。 注: センサーは、指先だけを検出できません。タッチ・ディスプレイにペンか鉛筆を使用してはなりません。キーパッド/MSR/タッチ・ケーブルが 4820 ディスプレイと 4694 システムに正しく接続されていることをチェックします。サービス診断ディスクを実行します。

説明の条件	解決方法
ディスプレイ全体がブランクになっている	<ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイの電源インディケータがオンであることをチェックします。そうでない場合、この表の示されている最初の条件に進みます。 • システム装置がオンであることをチェックします。 • バックライトがオンであることをチェックします (ディスプレイの輝度を見ます)。 • LED がオレンジ色 (こはく色) である場合、次をチェックします。 <ul style="list-style-type: none"> – ケーブル接続 – システム装置が電源オンされている – 電源管理のスタンバイまたはサスペンド・モード • サービス診断ディスクを実行します。
データが正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • ケーブル類がしっかりと接続されていることをチェックします。 • 自動調整補助ファイルを実行します。29ページの『自動調整補助ファイルの使用』を参照してください。 • 必要であれば、ケーブル類を取り替えます。 • サービス・ディスクを使用して、ホスト・システムのディスプレイ・テストを実行します。テストが正常に終了すれば、ソフトウェアに障害が起きています。
表示データが不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> • ビデオ・モードが 800 x 600 に設定されていることを確認します。 • 自動調整補助ファイルを実行します。29ページの『自動調整補助ファイルの使用』を参照してください。
ディスプレイ上にノイズが多発する	<p>自動調整補助ファイルを実行します。29ページの『自動調整補助ファイルの使用』を参照してください。</p>
ディスプレイの半分の上部か下部に縦線が表示される	<ul style="list-style-type: none"> • LCD ケーブルがしっかりと接続されていることをチェックします。 • ホスト・システムの制御装置のケーブルがしっかりと接続されていることをチェックします。 • 自動調整補助ファイルを実行します。29ページの『自動調整補助ファイルの使用』を参照してください。 • 必要であれば、ケーブル類を取り替えます。

説明の条件	解決方法
ディスプレイ上で欠落したデータのブロックがある	自動調整補助ファイルを実行します。29ページの『自動調整補助ファイルの使用』を参照してください。
磁気ストライプ読取装置 (MSR) の誤動作	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルがしっかりと接続されていることをチェックします。 MSR がディスプレイにしっかりと接続されていることを確認します。 サービス・ディスクレットを使用して、MSR のテストを行ないます。 MSR を取り替えます。
キーパッドの誤動作	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルがしっかりと接続されていることをチェックします。 キーパッドがディスプレイにしっかりと接続されていることを確認します。 サービス・ディスクレットを使用して、キーパッド・テストを実行します。 キーパッドを取り替えます。
ポインティング・デバイスの誤動作	<ul style="list-style-type: none"> ポインティング・デバイスがディスプレイにしっかりと接続されていることを確認します。 サービス・ディスクレットを使用して、ポインティング・デバイス・テストを実行します。 ポインティング・デバイスを取り替えます。
表示メッセージ	
<i>Unsupported video mode</i> (サポートされないビデオ・モード)	サポートされるモードに変更します。24ページの『サポートされるビデオ・モード』を参照してください。
<i>Over size</i> (オーバー・サイズ)	Windows のディスプレイ設定値が 800 x 600 であることを確認します。
<i>No Video/DPMS</i> (ビデオ/DPMS がない)	ホスト装置と 4820 間の通信がまだ確立していません。4694 システム装置が電源オンであることを確認します。4820 ディスプレイと 4694 システム装置の間のビデオ・ケーブル接続をチェックします。

サービス診断ディスクレットの使用

4820 SurePoint ソリューション用のサービス診断ディスクレットには、ホスト・システム POS I/O 装置の構成とテストをするためのプログラムが入っています。このディスクレットは、問題分析とその解決方法に関する情報も用意されています。

次のインターネット・サイトから、このディスクレットのコピーを入手することができます。

アクセスしたら、「ダウンロード」、「4820」でクリックします。

タッチスクリーンの調整

4820 タッチ調整ユーティリティは、4694/4695/ISA サービス・ディスク、バージョン 5.30 (38 VDC 用)、バージョン 4.02 (24 VDC 用) で出荷します。

1. サポートするインターネット・サイトからサービス診断ディスクをダウンロードします。
2. サービス診断ディスクを使用して、システムを開始します。
3. **Main Menu** (メインメニュー) から、**Test Menu** (テスト・メニュー) を選択します。
4. **Test Menu** (テスト・メニュー) から、**POS Device Tests** (POS デバイス・テスト) を選択します。
5. **Device Test Menu** (デバイス・テスト・メニュー) から、**Touch Screen Calibration** (タッチスクリーンの調整) を選択します。
6. オペレーター・プロンプトに従って、タッチスクリーン調整プログラムを実行します。

キーパッド、MSR、色調デバイス、およびタッチスクリーンのテスト

4820 タッチ調整ユーティリティは、4694/4695/ISA サービス・ディスク、バージョン 5.30 (38 VDC 用)、バージョン 4.02 (24 VDC 用) で出荷します。

1. サポートするインターネット・サイトからサービス診断ディスクをダウンロードします。
2. このディスクを使用して、システムを開始します。
3. **Main Menu** (メインメニュー) から、**Test Menu** (テスト・メニュー) を選択します。
4. **Test Menu** (テスト・メニュー) から、**POS Device Tests** (POS デバイス・テスト) を選択します。
5. **Device Test Menu** (デバイス・テスト・メニュー) から、希望する POS デバイス・テスト・プログラムを選択します。
6. オペレーター・プロンプトに従って、それぞれの特定のテストを実行します。

ポインティング・デバイスのテスト

4820 タッチ調整ユーティリティは、4694/4695/ISA サービス・ディスク、バージョン 5.30 (38 VDC 用)、バージョン 4.02 (24 VDC 用) で出荷します。

1. サポートするインターネット・サイトからサービス診断ディスクをダウンロードします。
2. このディスクを使用して、システムを開始します。
3. **Main Menu** (メインメニュー) から、**Test Menu** (テスト・メニュー) を選択します。
4. **Test Menu** (テスト・メニュー) から、**Run System Unit Tests** (システム装置のテストの実行) を選択します。

5. **Run System Unit Tests** (システム装置のテストの実行) から、**Mouse Port Test** (マウス・ポートのテスト) を選択します。
6. オペレーター・プロンプトに従って、ポインティング・デバイス (マウス・ポート) テスト・プログラムを実行します。

付録A. 取り付け板のテンプレート

分離型脚柱アセンブリーの取り付け用のガイドとして、次のテンプレートを使用します。

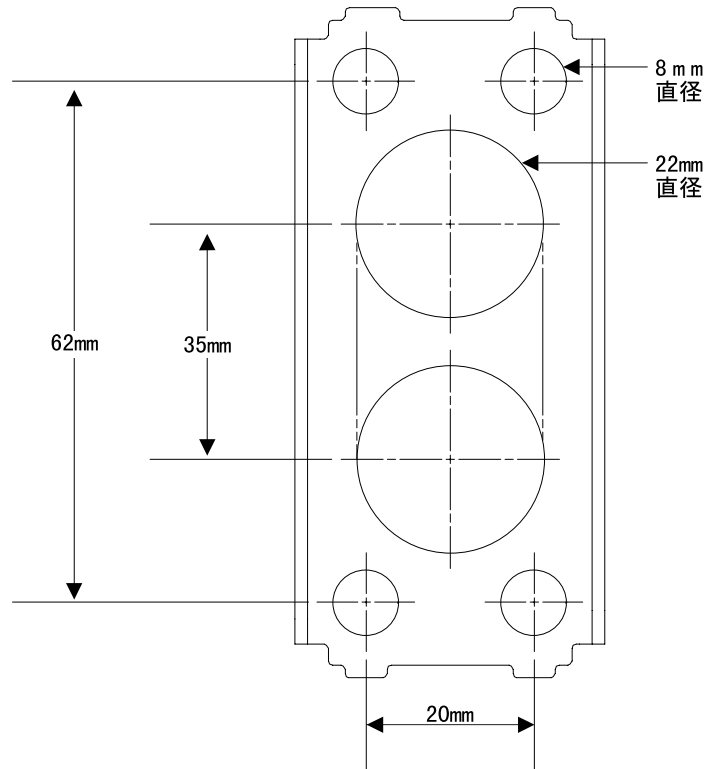


図 27. 分離型脚柱の取り付けテンプレート

付録B. 現場交換可能ユニット (FRU)

次のリストは、IBM 4820 SurePoint ソリューションの FRU パーツ番号を記載したものです。

FRU パーツ番号	説明
47L8699	4820、モデル 46D
47L8698	4820、モデル 46T
02K6555	電源機構、ユニバーサル
76H3516	電源コード、US
4783922	ロック・キット
4683923	フィルター
33G3352	タンブラー
33G3353	タンブラー
33G3354	タンブラー
33G3355	タンブラー
33G3358	タンブラー
33G3359	タンブラー
33G3360	タンブラー
33G3361	タンブラー
47L7265	ケーブル、ビデオ 0.8 メートル
47L8722	ケーブル、ビデオ 1.8 メートル
47L8721	ケーブル、ビデオ 3.8 メートル
95F3192	ケーブル、RS485 0.8 メートル
48G9020	ケーブル、RS485 1.8 メートル
95F3191	ケーブル、RS485 3.8 メートル
07K4030	統合型脚柱
07K4032	分離型脚柱、short-litho
07K4031	分離型脚柱、long-litho
47L8732	ヒンジ・アセンブリー
47L8731	くぼみカバー
47L8733	ヒンジ・カバー、い型
47L8734	ケーブル・カバー、い型
47L8741	YS ポール・カバー、い型
47L8760	キーボード/JUCC MSR
47L8760	JUCC MSR
47L8770	ポインティング・デバイス
07K4033	ケーブル、ポインティング・デバイス延長ケーブル、 2.0 メートル

付録C. 特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示

電波障害自主規制 届出装置の記述

注意:

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

静電気の放電 (ESD)

重要: 静電気の放電による損傷は、部品や製品とサービス技術員間の対地電圧に差が存在する場合に生じます。サービス技術員と取り付けている部品との間の対地電圧が同じであれば、損傷は生じません。

静電気の放電による損傷の防止

回路カード、モジュール、パネルの裏側のピンなど、静電気の放電により損傷しやすい (ESDS) 部品に触れるときには、サービス技術員の身体を、必ず静電気リスト・ストラップおよびコードを通して製品と静電気の共通接地点に導通させる必要があります。

静電気接地クリップは、フレーム接地、接地板、緑の接地線、あるいは電源プラグの接地ピンに接続します。同軸あるいはコネクタの外側のシェルも使用することができます。

取り外したカードの取り扱い

製品から取り外した回路カードは、ESD 保護容器に収納する必要があります。回路カードと他のものを ESD 容器内に一緒に収納しないようにしてください。容器の外側には、タグあるいは説明書きを貼り付けてください。

商標

IBM の用語は、米国およびその他の国における IBM Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、および Windows 95 のロゴは、Microsoft Corporation の商標、または登録商標です。

Pentium、MMX、ProShare、LANDesk および ActionMedia の用語は、米国あるいはその他の国における Intel Corporation の商標、または登録商標です。

その他の会社名、製品名、サービス名は、他社の商標またはサービス・マークです。

Java およびすべての Java ベースの商標は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標です。

索引

日本語、数字、英字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アダプター、分離型脚柱 23
安全上の注意 ix
インターネット・サイト、サポート 31
インターネット・サイト、IBM ストア・ソリューション 24
インディケーター、電源オフ 33
オプションのフィーチャー、取り付け 7, 10
オペレーティング・システム、サポートされる 2

[カ行]

快適さ、最大限の 27
快適さを最大限にする 27
カウンター、介した経路指定 14
カウンターに穴をあける 22
カウンターを介したケーブルの経路指定 14
カバー、ケーブル 21
管理者用のキーロック、取り付け 8
キーパッド、接続 10
キーパッドの誤動作 35
キーロック、管理者用の取り付け 8
輝度
 制御、調節 28
 調節 28
 メニュー項目 28
脚柱
 単独での取り付け 14
 統合型への取り付け 20
脚柱のアダプター、分離型 23
共通の問題、障害追及 33
共通の問題の検出および訂正 33
クリーニング
 タッチスクリーン 27
ケーブル
 カウンターを介した経路指定 14
 カバー 21
 経路 6
ケーブル接続
 外観 5
ケーブル・コネクション
 アイコン 5
経路、ケーブル 6
欠落データ 35

現場交換可能ユニット 41
交換可能ユニット、現場 41
誤動作
 キーパッド 35
 ポインティング・デバイス 35
コントラストのメニュー項目 28

[サ行]

サービス・ディスクレット
 使用 35
 4694 36
サポートするインターネット・サイト 31
磁気ストライプ読取装置、接続 10
システム・ソフトウェア、入手 24
システム・ソフトウェアの入手 24
自動調整のメニュー項目 28
自動調整補助ファイル
 用途 29
 DOS 29
 Windows 30
周波数、ビデオ 29
終了
 タイムアウトを介して 29
 OSD メニュー 29
手動調整、使用 29
手動調整のメニュー項目 28
使用
 サービス・ディスクレット 35
 自動調整補助ファイル 29
 手動調整 29
状態、LED 33
情報、保証 6
情報のメニュー項目 28
シリアル番号 6
ストア・ソリューションのインターネット・サイト、IBM 24
製品の概説
 サポートされるオペレーティング・システム 2
 システム・ソフトウェア 2
 システム・ハードウェア 2
製品の利点 1
セキュリティー 2
接続
 キーパッド 9
 磁気ストライプ読取装置 10
 分離型脚柱 14
 ポインティング・デバイス 13
接続、ケーブル 5
ソフトウェア、システムの入手 24

[タ行]

- タイプ/モデル、マシン 6
- タイムアウト、介して終了 29
- ダウンロード 24
 - DOS 版 POSS 24
 - OPOS ドライバー 24
 - Windows 版 POSS 24
- タッチスクリーン
 - クリーニング 27
 - 調整 36
- タッチスクリーンの調整 36
- タッチ・ディスプレイ
 - タッチしても何も表示しない 33
- 縦線 34
- 注記 ix
- 調節
 - 輝度調節 28
- 調節、輝度 28
- 調整補助ファイル
 - 使用 29
- データ、欠落した 35
- データ、正しくない表示 34
- ディスクレット、4694 サービス 36
- ディスプレイ
 - タッチしても何も表示しない 33
 - 縦線 34
 - ノイズを多発する 34
 - 不鮮明なデータ 34
 - ブランク 34
- ディスプレイ設定要件、Windows 25
- ディスプレイにノイズを多発する 34
- 電源インディケータがオンでない 33
- 電源オン 24
- 電源機構 2
- テンプレート、分離型脚柱 14
- 統合型脚柱
 - 取り付けのステップ 20
 - パーツ・リスト 20
 - ベース・プレート 20
- ドライバー 24
 - OPOS 24
- 取り付け
 - オプション 7
 - 管理者用のキーロック 8
 - 統合型脚柱 20
- 取り付け、VESA 23
- 取り付けブラケット 20

[ハ行]

- パーツ・リスト、統合型脚柱 20
- ハードウェア・リスト、検討 7

- ハードウェア・リストの検討 7
- ビデオ周波数 29
- ビデオ・モード 24
- 表示されるデータが正しくない 34
- 表示データが不鮮明 34
- フィーチャー、オプションの取り付け 7
- ブラケット、取り付け 20
- ブランク・ディスプレイ 34
- 分離型脚柱
 - 取り付け 14
- 分離型脚柱のアダプター 23
- ベース・プレート、統合型脚柱 20
- ポインティング・デバイス、接続 13
- ポインティング・デバイスの誤動作 35
- 保守、依頼 6
- 保守の依頼 6
- 保証情報 6

[マ行]

- マシン・タイプ/モデル 6
- メッセージ
 - オーバー・サイズ 35
 - オーバー・サイズ 27
 - サポートされない ビデオ・モード 35
 - サポートされないビデオ・モード 24
 - No Video/DPMS 24, 35
- メニュー、OSD の終了 29
- モデル番号 1
- 問題、共通の障害追及 33

[ヤ行]

- ユニット、現場交換可能 41
- 要件、Windows ディスプレイ設定 25

[ラ行]

- リセットのメニュー項目 28
- 利点、製品 1
- ロック、管理者用のキーの取り付け 8

[数字]

- 4694 サービス・ディスクレット 36
- 4820 SurePoint ソリューション
 - 概要と製品の利点 1
 - 細長くぼみ 21
 - 接続 4
 - 前面の外観 3
 - 電源オン 24
 - 保守 33

4820 SurePoint ソリューション (続き)
モデル番号 1

4820 SurePoint ソリューションの保守
共通の問題の障害追及 33
サービス診断ディスクレット 33
LED 状態 33

4820 フラット・パネル・ディスプレイ
操作 27

4820 フラット・パネル・ディスプレイの操作 27

4820Pat.exe 29

Windows (続き)

ダウンロード、POSS 24

ディスプレイ設定要件 25

Windows 版 POSS のダウンロード 24

win_pat.exe 31

D

DOS 版 POSS のダウンロード 24

DOS ユーザー、自動セットアップ 29

DOS_PAT.exe 29

F

FRU パーツ番号 41

I

IBM ストア・ソリューションのインターネット・サイ
ト 24

L

LED 状態 33

O

OPOS ドライバーのダウンロード 24

OSD メニュー

輝度 28

コントラスト 28

自動調整 28

終了 29

手動調整 28

使用 28

情報 28

リセット 28

S

SVGA 24

V

VESA の取り付け 23

VGA 24

W

Windows

自動セットアップ 30



部品番号: 07K3995

Printed in Japan

GA88-8038-00



日本アイビーエム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

07K3995

